



心と体に響く和太鼓！

生涯学習フェスティバルが1月22日、23日、農村環境改善センターにおいて、体験学習や作品展示、学習発表などが行われ多くの来場者で賑わいました。

(写真：23日の学習発表で力強い演奏で聴衆を魅了した富倉ふれあい太鼓による和太鼓。6ページに関連記事掲載)



▲ 謝辞を述べた渡邊大司さん

平成17年成人式

二十歳の花立ち



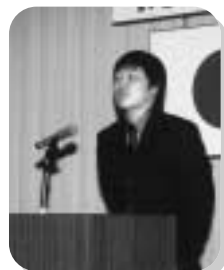
二十歳の門出を祝う「平成17年新地町成人式」が1月9日、農村環境改善センターで開かれ、新成人132名が晴れて大人の仲間入りをしました。

式には、新成人をはじめ、来賓、議会、町関係者ら約180人が出席。お母さんコーラス「コールしおさい」のリードによる国歌斉唱、新地町の歌のあと、お祝いの歌として「名前のない空を見上げて」「上を向いて歩こう」を合唱しました。続いて、加藤町長が「ふるさとに誇りと愛着を持ち知識と若さあふれる行動力を持って目標に向かい、あせることなく、かけがえのない人生を大切に歩んでください」と式辞を述べ、来賓の菊地正文町議会副議長がお祝いの言葉を贈りました。

新成人を代表して、齋藤康志さん（菅谷）が加藤町長から記念品を受け取り、渡邊大司さん（鉄炮町）が「夢に向かって精一杯努力し邁進していきたいと思っています。多くの先輩方がしてきたようにこの新地町に貢献し、これからも町に積極的に関わっていききたいと思います。」と謝辞を述べました。続いて、5人の新成人が二十歳を迎えた喜びと抱負などを発表し、社会人としての自覚と決意を新たにしていました。記念講演では、アテネオリンピックトライアスロン競技日本代表の西内洋行さん（原町市出身）を講師に招き、オリンピックでの体験談を交え講演を行いました。



フリートークをした5人の新成人



小野健一さん
(中島、東京都在住)



中川美智子さん
(富倉、岩手県在住)



布施清人さん
(作田)



森可南子さん
(渋民、東京都在住)



濱野利也さん
(小川)



成人式を迎えて…
・いろいろなことにチャレンジしたい！
・両親に恩返しをしたい。
・心を新たに頑張って走り続けたいと思います。
・大人としての「責任」を常に持ちたいと思います。
・これからも人生を楽しく生きていきたいです。



▲ 記念品を受け取り笑顔を見せる齋藤康志さん



▲ アテネオリンピックでの体験談を話してくれた西内洋行さん



▲ お祝いの歌を合唱してくれた「コールしおさい」のみなさん

《 受付日程表 》

【午前】 午前9時～11時30分
 【午後】 午後1時～5時
 【夕方】 午後5時30分～7時

(※) は勤務の都合上指定日に来ることができない方

月	日	曜	時間	地	区	会 場
2	14	月	午前	沢 口	役場101・102 会議室 TEL 62-2119	
			午後	鉄炮町・大山田		
	15	火	午前	木 崎		
			午後	明 地		
	16	水	午前	中 里・下真弓		
			午後	中 里・下真弓		
	17	木	午前	上真弓		
			午後	埴 浜		
	18	金	午前	新 町		
			午後	作 田		
			夕方	福田地区(※)		
	21	月	午前	今 神・駒ヶ嶺町		
			午後	高 田・駒ヶ嶺町		
	22	火	午前	藤 崎・上ノ町		
			午後	藤 崎・上ノ町		
	23	水	午前	城 内		
			午後	渋 民		
	24	木	午前	富 倉・原相善		
			午後	富 倉・原相善		
	25	金	午前	菅 谷		
			午後	菅 谷		
			夕方	駒ヶ嶺地区(※)		
	28	月	午前	新地町		
			午後	新地町		
3	1	火	午前	新地町		
			午後	杉 目		
2	水	午前	杉 目			
		午後	杉 目			
3	木	午前	岡			
		午後	岡			
4	金	午前	小 川			
		午後	小 川			
		夕方	新地地区(※)			
7	月	午前	小 川・雇用促進住宅			
		午後	小 川・雇用促進住宅			
8	火	午前	大戸浜			
		午後	大戸浜			
9	水	午前	大戸浜			
		午後	大戸浜			
10	木	午前	釣 師			
		午後	釣 師			
11	金	午前	今 泉			
		午後	中 島			
		夕方	新地地区(※)			
13	日	午前	まだ、申告していない方			
		午後				
14	月	午前				
		午後				
15	火	午前				
		午後				

税の申告はお忘れなく！

平成17年度町県民税申告 平成16年分所得税確定申告

町県民税申告と所得税申告の時期となりました。
 申告方法等については、広報しんち1月20日号と一緒に配付しました「申告のご案内」をご覧ください。
 各地区、指定日(左記受付日程表)で都合の良い日に申告してください。
 ●問い合わせ 税務課 (☎2119)

平成17年4月から 国民年金が変わります

国民年金保険料が平成17年度から毎月収める額が毎年度280円アップし、平成29年4月以降の保険料は、16,900円で固定されます。
 (下記参照)



年 度	月 額	備 考
平成16年度	13,300円	毎年度280円アップ 物価や賃金の伸びにより金額が変更になることがあります。
平成17年度	13,580円	
平成18年度	13,860円	
平成19年度	14,140円	
：	：	
平成29年度以降	16,900円	

通常の口座振替(翌月振替)

保 険 料	振替日
3月分(13,300円)	4月末
4月分(13,580円)	5月末
5月分(13,580円)	6月末

新設の当月振替(3月申請の例)

保 険 料	振替日
3月分(13,300円) 割引なし	4月末
4月分(13,580円) から割引	4月末
5月分(13,580円) から割引	5月末

当月振替をご利用ください
 口座振替の当月振替(同月末に振替)が新設されます。申請又は変更の翌月の保険料から、毎月40円(予定)の割引になります。個人の納付状況や手続き時期によって割引開始月が異なります。手続きは社会保険事務所で行っております。(半額免除に該当している方は、この制度は適用されません)

若年者(30歳未満)に対する納付猶予制度

30歳未満の1号被保険者本人(自営業・学生など)とその配偶者の所得が一定以下の場合、申請により保険料を後から納めることができる特例制度です。ただし、学生は学生納付特例が優先されます。



第1号被保険者

自営業・自由業・学生など
 (20歳以上60歳未満)



第2号被保険者

会社員・公務員など
 (65歳未満)



第3号被保険者

会社員・公務員などに扶養されている配偶者
 (20歳以上60歳未満)

第3号被保険者の 特例届出の実施

過去に配偶者(サラリーマン)の扶養になり、3号被保険者の届出を忘れていたことがある方は、社会保険事務所に申し出ることでその期間全てを認められます。この期間は、年金を受給する際に影響します。
 ●問い合わせ
 ・相馬社会保険事務所 (☎5173)
 ・役場健康福祉課 (☎2932)

生涯学習フェスティバル05

「生涯学習フェスティバル」が1月22日、23日の両日、農村環境改善センターで開かれ、子どもからお年寄りまで多くの町民で賑わいました。

22日はパソコンや茶道、ガーデニングの体験学習や各種教室の作品展が、23日には各種教室生による発表会・アトラクションが行われ、オープニングでは、ピアニストの f y u k a r i (深澤ゆかりさん 新地町在住)とサクソ奏者の古溝徹さんによるミニコンサートが開かれました。



▲ 各種教室の展示コーナー



▲ 民謡教室の皆さんによる「登塗り長句」[新さんさ時雨]



▲ ガーデニング体験 (こけ玉づくり)



▲ 昔語り「つるかめ」



▲ パソコン体験 (手作り一筆便せんづくり)



▲ 茶道体験



▲ マジック教室の皆さんによるマジックショー

～プロフィール～

- ◇f-yukari (深澤ゆかり) (ピアニスト)
岐阜県出身。名古屋芸術大学器楽科ピアノ専攻卒業。クラシックだけに限らず、ジャズ、演歌、フュージョン等、様々なジャンルのライブに参加。太平洋フェリーなどでも演奏し、後進の指導にも力を注いでいる。現在は新地町在住。
- ◇古溝 徹 (サクソ奏者)
仙台市出身。国立音楽大学を卒業。これまで、仙台フィルハーモニー管弦楽団やラジオ番組、テレビドラマの作曲の他、多数の学校を全国大会へ導いている。現在は、宮城誠真短期大学教授、宮城県立盲学校、山形北高等学校音楽科の講師など、多方面において活躍しています。



都市計画公聴会の開催

相馬港臨港地区を 変更する案

県では、昭和45年9月11日に定められた相馬港臨港地区を変更する案の作成にあたり、広く町民の皆さまからのご意見を頂くため、公聴会を開催します。

意見を述べたい方(公述人)は、次のとおり公述の申し出をしてください。

なお、意見を述べる方以外にも傍聴することができます。

- ▼日時 平成17年3月17日(木) 午後6時30分
- ▼場所 相馬市総合福祉センター(はまなす館)第三会議室
- ▼公述人の資格 相馬都市計画区域内(相馬市・新地町)に居住している方を対象とします。
- ▼公述人の申し出 公聴会に出席して、意見を述べたい方は、下記申出書を提出してください。

【提出期間】
2月22日(火)～3月10日(木)

午前8時30分～午後5時
(土・日を除く)

【公述書提出先】

役場都市計画課 県土木部
都市計画グループ、県相双建設事務所企画調査グループ、
県相馬港湾建設事務所のいずれかに提出してください。

▼公述人の選定 提出された公述内容に同じ内容の意見がある場合等は、公述人を調整することがあります。

▼公聴会の傍聴 公聴会を傍聴されたい方は、公聴会の当日に直接会場にお越しください。なお、会場の都合上、傍聴席の数を限らせていた場合がありますのでご了承ください。

▼素案の閲覧

2月22日(火)～3月8日(火)
午前8時30分～午後5時
(土・日を除く)

▼閲覧場所

役場都市計画課 県土木部
都市計画グループ、県相双建設事務所企画調査グループ

別記様式

公 述 申 出 書

平成17年度2月22日付福島県報に連載された「相馬都市計画区域に定めた相馬港臨港地区に関する都市計画を変更する案」に関し、次のとおり公述を申し出ます。

平成17年 月 日
福島県知事 佐藤 栄佐久 様
公述申出人 住 所 印
民 居 署
生年月日 年 月 日 (歳)

- 意見を述べようとする理由
- 意見の要旨

注「意見を述べようとする理由」及び「意見の要旨」については、A4版の要旨に400字程度の横書きのこと。

都市計画区域マスタープラン地域懇談会

県では、平成16年5月に相馬都市計画区域(新地町・相馬市)マスタープランを策定いたしました。この「相馬都市計画区域マスタープラン」をみなさんに知っていただき、今後のまちづくりについて、ともに考えていきたいと思っております。

つきましては、下記の日程で地域懇談会を開催いたしますので、ふるってご参加ください。また、当日は皆さんとの意見交換の時間を設けております。

- ▶日 時 2月28日(月) 午後6時30分～8時30分
- ▶会 場 相馬市総合福祉センター(はまなす館)多目的ホール
- ▶入場料 無料(直接会場にお越しください)
- ▶内 容 【1部】都市計画に関する説明 ・都市計画とは? ・都市計画マスタープランとは? ・相馬都市計画区域マスタープランについて
- 【2部】パネルディスカッション ・今後のまちづくりについて

●問い合わせ ・役場都市計画課(☎2113)
・県相双建設事務所企画管理部企画調査グループ(☎1228)



鍛錬の成果を競う

町体育協会主催の町民柔道大会が町柔剣道場で、剣道大会が勤労青少年ホームで1月16日に行われ、出場者は日頃の鍛錬の成果を競いました。

結果は次のとおりです。(敬称略)
【柔道大会】 幼年の部優勝：加藤光貴 小学生低学年の部優勝：加藤広大 小学生高学年の部：野地聡 中学生男子の部優勝：鈴木智彦 中学生女子の部優勝：青山明加
【剣道大会】 小学生低学年の部優勝：菅野航 小学生高学年の部優勝：菅野智也 中学生男子の部優勝：高橋祥也



▶ 事故ゼロを誓う救難所員たち

海の安全を願う 「県海難救済会 新地救難所出初め式」

一年間の海難事故ゼロを願い1月15日「県海難救済会新地救難所出初め式」が相馬双葉漁業協同組合新地支所で行われました。

出初め式では、救難所員ら約50名が参加し、海難事故ゼロを願いました。

救難所は、地元漁師や漁協組合員などで構成しており、海難事故などの際に出動し救助活動を行います。



▶ 交通事故ゼロを願う神事を行う関係者一同

一年の無事故を誓う

今年一年間の交通事故ゼロを願い「年頭交通安全祈願祭」が1月7日、子盾嶺神社で行われ、町交通対策協議会、町交通指導員会、町交通安全母の会連絡協議会、相馬警察署、相馬地区交通安全協会など関係団体の代表ら約40人が出席しました。

関係者らは、一丸となって交通安全に取り組み、事故のないまちづくりを誓い合いました。



▶ 多くの来場者で賑わう

歳の市

毎年恒例になっている新地朝市出店者会主催の「歳の市」が12月30日、農村環境改善センター前駐車場で開かれました。

会場には9店が出店し、魚介類や玩具、温かいそばやうどんなどの店舗が並び、町民をはじめ、帰省中の家族などで賑わいました。また、来場した方に豚汁が振る舞われ、冷たくなった体を温めていました。

YAHHO! トム

(和訳は15ページ)

Happy New Year.



I had an interesting start to this New Year. One that I will never forget. I was in Thailand for Winter Vacation. I left Japan on December 23rd and arrived in Thailand on Christmas Eve. I met some my friends from UCLA in Bangkok, then we took an overnight bus from Bangkok to a small town on the Thai/Malaysian Peninsula called Surat Thani. As everyone knows, at about 7:30 in the morning on December 26th, there was a 9.0 magnitude earthquake off the coast of Sumatra. At the time, I was still on the bus and felt a small shake, but had no idea how big of an earthquake it really was. At about 8:30 in the morning, I got on a boat and headed East into the Gulf of Thailand towards a small island called Koh Pha Ngan. At that time, about half of the people from my bus went East with me, and the other half went west towards Phuket and Koh Phi Phi. At about 10:30 in the morning, the huge tsunami hit the west coast of Thailand. At that time, I was on a boat, but on the east side of the Thai/Malaysian Peninsula.

Following the tsunami, we spent two more nights in Koh Pha Ngan to make sure that it was safe to go back to Surat Thani. My friends and I decided that it was safe, and that we wanted to volunteer our help. So we first went to Krabi, the main city close to Phuket. There, we spent a few days working at the hospital and at city hall. In Krabi, I helped by speaking English on the phone to family members of the victims.

After Krabi, we went to a volunteer camp in Khao Lak, a beach 2 hours north of Phuket. In Thailand, about 8,000 people died from the waves, and about 6,000 of those deaths occurred in Khao Lak. Once I arrived, I could see why so many had died there. For 2 kilometers from the ocean, everything was destroyed. Houses, hotels, telephone poles, traffic lights, etc. were all completely gone. In fact, behind our camp, 2 kilometers from the beach, there was a 20,000 kg. police boat sitting on the ground. Imagine a boat that large coming all the way from the beach to Shoeni Jr. High School on a wave, and that is how powerful it was.

At the camp in Khao Lak, my friends and I did a lot of different things. Many people had lost their homes, so I spent quite a lot of time in the kitchen chopping fruit and vegetables. We were also collecting passports, driving licenses, luggage tags, etc. and then sending the information we received to some of the different Embassies around the world. It was difficult because it was so sad to be there, but I met a lot of amazing people, all doing amazing things. I feel like I learned a lot.

In closing, I would like to tell a story. A Thai friend that I made at our camp, Arun, lived with his family in Khao Lak. He spoke very good English and he told me his story of what had happened that morning. He was walking down on the beach and the tide was very, very low. So low, that people were walking out onto the huge beach and collecting shells and fish and taking pictures. Almost no one knew that a tsunami was coming, including Arun. But just before the waves came, a Japanese tourist was yelling to people to get off the beach. Not many people understood his Japanese, but some saw what he was trying to say. Arun had thought that the Japanese man was a bit crazy, so didn't pay much attention to him. It wasn't until the Japanese man grabbed Arun by the shirt and started to run away from the beach with him that he began to understand that they were in danger. Soon after, the waves came, and Arun was able to just barely escape, after running for nearly two kilometers. When he came back to his home, only a kilometer from the water, his house and all six of his family members were gone. He was alone and his home was ruined, but his life was saved. The Japanese man, who knew about tsunamis, had saved his life. I think from now on, the world will know much more about the power of a tsunami.

Anyways, I am thankful to be back here, and I am looking forward to a great six month.



▶ 一年の飛躍を誓った出席者

新年賀詞交歓会

新地町商工会(後藤顯一会長)主催による、「新年賀詞交歓会」が1月12日、農村環境改善センターで、町内の事業所や町議会、各行政区長、学校関係者など約90人が出席して開催されました。

交歓会では、神事後、後藤会長があいさつを行い、地酒鹿狼山の鏡割りで懇親会に入りました。出席者たちは和やかな雰囲気の中、新年のあいさつを交わり、今年一年の抱負を語り合いました。



▶ 火の守りを誓った団員たち

消防団出初式

平成17年「新地町消防団出初式」が1月9日、町総合体育館で行われ、団員、婦人消防隊ら約350人が参加し、今年一年の火の守りを誓いました。

式では、阿部消防団長のあいさつや、永年勤続団員、優良団員、町消防団長表彰、消防団車庫・機械器具維持管理コンクール表彰が行われました。

図書館へ行くつう

新着本のツラ内

●一般書
『天馬、翔ける(上・下)』 安部 龍太郎
兄は天下創建を構想し、弟は戦火のただなを疾走した。だが、二人は否応もなく引き裂かれてゆく。真の「義経」を描く歴史超大作。



『北の動物園』 倉本 聰
「トト」は一番の珍獣じゃあるまいか。少年時代やニッポン放送在籍時のエピソードから、劇団・テレビ・文壇・富良野の仲間たちの愉快な裏話まで、ユーモアたっぷりのエッセイ集。



『生きていてよかった』 山口洋子

『モライ・ドール』 熊谷達也

『子どもを伸ばすお片づけ』

『お店の数字に強くなる本』

『トリビアの泉(10)』

『金子みすゞの詩を描く』

●児童書

『コン・セブリ島の魔法使い』 別役 実

魔法使いにしか読めないという文書を解読してもらったため、トマカンテ君はコン・セブリ島へ魔法使い探しの旅に出る。果たして、世界に一人しか残っていないという魔法使いを見つけ出せるのか？



『心うつたれるほんとうにあった話』

『たんぼ先生あのおね』 宮川ひろ

『ファンタジーが生まれるとき』 角野栄子

『脳を育て、夢をかなえる』 川島隆太

『あつ！じしん』

『ハワルの動く城』

●CD

『優しさ便り』

●DVD

『SENTIMENTAL ALLOVERS』 平井 堅

『ソング・オブ・ジ・アース』 中島 啓江

『ENCORE』

『EMINEM』

2月の読み聞かせ会

2月20日(日)
午前11時～11時30分

図書館カレンダー						
日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	31	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12

●は休館日

こんにちは保健師です

保健師 斎藤 洋子

40歳以上の方は 肝炎ウイルス検診を受けましょう

肝炎ウイルス検診はC型・B型肝炎ウイルスに感染しているかどうかを調べるものです。町でも平成14年度から肝炎ウイルス検診をはじめました。感染しても自覚症状がない人が多く、そのまま放置しておくと、肝硬変や肝がんに移行する場合があります。しかし事前に感染が分かればコントロールが可能です。

● 感染の可能性がある人は？
40歳以上である
過去に肝機能の異常を指摘されたことがある
大きな手術や妊娠・出産時に大量出血したことがある
医療従事者のように血液にふれる状態が多かった

● ウイルスに感染していたら
「すぐに治療を始めなければいけない」という人はあまりいませんが、肝臓の状態を把握できるように定期的な検査を受けましょう！

● 各種検診を受けましょう！
検診の申込みの時期となりましたので、該当する検診は忘れずお申し込みを！

を受け、状態にあわせて生活管理をしましょう。
ここに注意しましょう！
定期的な精密検査を受ける主治医と相談して治療方針を決める

● 肝炎の正しい知識が偏見や差別をなくします
感染する病気は「感染するのでは・・・」といった恐れから、病気や感染者に対して偏見をもつ例が今まで見受けられました。

しかし、肝炎ウイルスは感染が起これば、日常的な接触で感染することがないことが分かっています。病気を予防する心がけは大切ですが、むやみに恐れるのではなく、正しい知識をもち、偏見や差別を持つことなく生活してほしいと思います。

握手、くしゃみ、食事、食器や箸の共有、入浴、トイレ・公衆浴場、蚊・ハエなどでは感染しません。

守るつう交通ルール 気をつけよう交通事故

の中央に出てしまったり、車が来て右端に寄らなかつたりという光景が散歩の中で時々見られます。その都度、笛を吹いて危険を知らせ、「右側を歩くんだよ」と声をかけています。車は怖いという意識を持たせたいですね。

2回目の交通安全教室は、2月～3月に行います。5歳児は間もなく小学校に入学するため一人ひとりの歩き方や横断の仕方を指導します。

お巡りさんが子どもたちに守って欲しいルールは、「道路に飛び出さない」、「右側を歩く」、「車の後ろで遊ばない」とです。保育所では、右手を挙げ、「右来ない、左来ない、もう一度右来ない、大丈夫」の言葉を発し、確認したら横断することを教えています。

また、自転車に乗る時は庭の中だけで、道路では絶対乗らないことを約束しています。かけがえのない子どもたちの大切な命を守るために家庭



107
保育所



交通ルールを守ろう

4月に4～5歳児を対象に1回目の交通安全教室を行います。新地駐在所のお巡りさん、地域の交通安全指導員、交通安全母の会の皆さんに交通ルールを教えてください。実際に道路の歩き方をみてもらいます。その後から散歩が始まります。一人で歩く機会が少ない幼児にとって車の危険性に対する意識はあまりありません。道路を歩きながらおしゃべりに夢中になり道



と保育所と地域が協力して交通安全に取り組んでいかなければならないと思います。「とびだすな きちんと確認 みぎひだり」

子どものつばやき

☆おやつの時豆腐入りドーナツ(手作り)を食べたAくん「先生このドーナツ、どこで買ったの?」
保育所の手作りおやつは工夫されていておいしいよ。

2月の行事予定

- 鬼行列 3日(木) 駒ヶ嶺保育所
- 育児相談 18日(金) 新地保育所 福田保育所 浜保育所
- 21日(月) 駒ヶ嶺保育所
- たんぼ広場との交流会 23日(水) 新地保育所
- 交通安全教室 22日(火) 浜保育所 24日(木) 駒ヶ嶺保育所 25日(金) 福田保育所 28日(月) 新地保育所

虫歯ゼロ

1月17日に行われた3歳児健診で虫歯(ゼロ)の子どもは17人中9人でした。

虫歯の子供たち

	今野 愛優ちゃん (今 泉)		目黒 舞鈴ちゃん (中 里)		渡辺 捺生ちゃん (岡)
	荒 梨香子ちゃん (新地町)		原口 彩夏ちゃん (大戸浜)		石田 詠陸くん (高 田)
	竹澤 涼くん (今 泉)		早坂 太希くん (城 内)		水戸 慶乃ちゃん (浜 民)

暮らしの情報



新地町

〒979-2792 福島県相馬郡新地町谷地小屋字樋掛田30番地
 TEL 0244-62-2111(代表)
 FAX 0244-62-3194

E-mail info@shinchi-town.jp

http://www.shinchi-town.jp

国民年金の納付相談会

相馬社会保険事務所では、年金相談会集合徴収を行います。国民年金保険料の納め忘れや納付に関して相談のある方は、この機会をご利用ください。なお、当日は免除申請の相談も行いますので、申請される方は印鑑、年金手帳をご持参ください。

- ▼日時 2月20日(日) 午前11時～午後4時
- ▼場所 農村環境改善センター
- ▼その他 平成15年1月1日以降に失業された方は、離職票又は雇用保険受給資格者証をお持ちください。平成16年1月1日以降に転入の方は、1月1日居住の市区町村発行

の課税証明書や源泉徴収票などが必要です。

お問い合わせ

- ・相馬社会保険事務所国民年金業務課 ☎5173
- ・健康福祉課 ☎2932

新地町野球リーグ 参加チーム募集

- 町野球リーグでは、2005年シーズンの参加チームを次のとおり募集します。
- ▼リーグ期間 4月～9月
- ▼年会費 1チーム1万円
- ▼参加資格 代表者が町内在住又は町内に勤務。(学生・生徒は除く)
- ▼申込期限 2月25日(金)
- 申し込み・問い合わせ 新地公民館 ☎2085

医療相談会のお知らせ

県相双保健福祉事務所では、難病の後縦帯骨化症(こうじゅじんたいこっかしょう)で治療中の方やその家族を対象に医療相談会を開催します。

- ▼日時 2月25日(金) 午後1時30分～3時30分
- ▼場所 原町市保健センター ☎3680
- ▼内容 (講話、個別相談)
- (演題) 後縦帯骨化症の基礎知識
- (講師) 原町市立病院整形外科長 佐藤直人先生
- 申し込み・問い合わせ 県相双保健福祉事務所 ☎1138

書斎めぐらう

- ◆一般寄付金へ
- ・故鈴木ヨシさんのご遺志として 鈴木一光さん(藤崎)より10万円
- ◆社会福祉協議会へ
- ・故鈴木ヨシさんのご遺志として 鈴木一光さん(藤崎)より10万円/故鈴木サタノさんのご遺志として 鈴木洋市さん(沢口)より10万円



▲新しいお風呂で気分爽快。

◆新地ホームへ

- ◎寄付
- ・佐藤昇さん(今泉)より5万円/鈴木一光さん(藤崎)10万円/鈴木栄さん(白石市)より10万円/鈴木功さん(大山田)よりハンドソープ24本/三宅絹枝さん(埴浜)より紙おむつ3袋/ホテルメトロポリタン仙台よりレトルトお粥465食/荒谷子さん(木崎)よりタオル120枚
- ◎慰問・ボランティア
- ・特老ボランティア27回53人/JAすずらん2回9人/レマンの会1回3人/新地町ボランティア会1回2人/漁協婦人部1回3人/高澤梨乃1回

◆新地ホームのお風呂を購入

(財)中央競馬馬主社会福祉財団(社)福島馬主協会からの平成16年度施設等助成金を活用し、特殊浴槽を購入しました。

=農業所得申告者の皆さんへ=

水稲作付け面積が、2ha未満の方で販売用の野菜を作付けていない方が適用される「農業所得簡易計算」は、次のような計算方法になります。なお、地場産市場や地元商店に出荷している方は、すべて収支計算になりますのでご注意願います。

平成16年分農業所得簡易計算所得率及び家事消費等の基準金額

- ・水稲所得率 23%
- ・販売がない方の60^キ当たりの米単価 14,160円
- ・自家用畑の10^{アル}当たり収入金額 108,479円

総収入金額(雑収入を含む)×所得率 - 事業専従者控除額 = 所得金額

(例) 総収入金額が100万円の場合
 100万円×23% = 23万円
 総収入金額とは、販売金額・事業消費額・家事消費額・水稲共済金・とも補償金などです。

販売金額には、農業協同組合や市場・出荷組合及び庭先での販売金額で、くず米・加工米も含まれます。出荷伝票や取引明細書をご持参ください。事業消費額とは、小作料を米で支払った場合や種初として使用した場合などをいいます。家事消費額は、農産物を自宅で消費したり親戚などに贈答した場合で、販売価格により計算します。

●お問い合わせ 町税務課 ☎2119

相馬地方伝統芸能披露開催のお知らせ

相馬地方広域市町村圏組合では、地域の伝統芸能の披露とPRによって相馬地方観光の活性化を図ることを目的に「相馬地方伝統芸能披露」を開催します。

- ▼日時 2月20日(日) 午前11時～午後1時
- ▼会場 道の駅そつま
- ▼出演予定団体

水道料金納入組合 制度を廃止します

水道料金納入組合の皆さまには水道料金納入奨励のためご協力いただいて参りました

が、口座振替による料金支払いが定着し、実質的な組合取り扱い件数が大変少なくなりましたので、平成16年度の奨励金交付をもって水道料金納入組合制度を廃止いたします。組合員の皆さまには長い間のご協力を感謝申し上げますとともに、水道事業につきましてこれまで同様ご協力賜りますようお願いいたします。

●お問い合わせ 相馬地方広域水道事業団 ☎6700

農業講演会開催

町では次のとおり農業講演会を開催します。講師に塩川町の(有)やまだズ代表山田義人氏を招いて「地域営農を考える」をテーマにお話しいたします。皆さんふるってご参加ください。

- ▶日時 2月25日(金) 午後7時～
- ▶場所 農村環境改善センター
- ▶講師 (有)やまだズ 代表 山田義人氏
- ▶参加費 無料
- 問い合わせ 農林水産課 ☎2194

公民館・勤労青少年ホーム各種教室案内

2月	14日(月)	マジック教室(自主)	(午後 7:00 勤労青少年ホーム)
		民謡教室(自主)	(午後 1:30 駒ヶ嶺公民館)
	16日(水)	たんぽぽひろば	(午前 9:30 保健センター)
	17日(木)	手編み教室(自主)	(午後 1:30 駒ヶ嶺公民館)
	19日(土)	親子ふれあい教室	(午前 10:00 新地公民館)
	21日(月)	健康レクリエーション体操教室(自主)	(午後 1:30 駒ヶ嶺公民館)
	23日(水)	たんぽぽひろば	(午前 10:00 新地保育所)
		ピースアクセサリー教室(自主)	(午前 9:30 勤労青少年ホーム)
	24日(木)	トールペイント教室(自主)	(午前 9:30 駒ヶ嶺公民館)
		アレンジメントフラワー教室(自主)	(午後 7:00 勤労青少年ホーム)
3月	8日(火)	民謡教室(自主)	(午後 7:00 新地公民館)
		おやつ&デザート教室(自主)	(午前 9:30 駒ヶ嶺公民館)
	9日(水)	たんぽぽひろば	(午前 9:30 保健センター)

母と子の健康

(平成17年2月14日～平成17年3月4日)

健康診査等	対象者	日(曜)	受付時間
母子手帳交付	妊娠とわかったらなるべく早く、母子手帳の交付を受けましょう	2/18(金) 3/4(金)	午前9時～10時
1歳児相談	平成15年11月～平成16年1月生まれ	2/23(水)	午前9時45分～10時
1歳6か月児健診	平成15年5月～7月生まれ	2/14(月)	午後1時～1時15分

場所は保健センター

水道業者修理当番

月日	業者名	電話番号
2月19日～20日	山内工業(株)	☎2826
	(有)佐藤水道設備	☎3492
	(株)大場設備	☎6111
26日～27日	(株)セントラル住設	☎3380
	(株)公水設備	☎2824
	(株)加藤設備工業	☎3454
3月5日～6日	(有)伸栄設備	☎6500
	桜井設備工業(株)	☎4778
	(有)斉藤設備	☎2868
12日～13日	(有)オオタ設備	☎2677
	(有)サンリット工業	☎2346
	鹿島水工(株)	☎4110

平日の修理は指定工事業者にお申し込みください。

～カルシウムたっぷりメニュー～

わが家の自慢料理 ㊿

『小松菜の白和え』 齋藤尚子さん(菅谷)

●1人分の栄養量
 ・エネルギー 87キロカロリー ・カルシウム 184ミリグラム
 ・蛋白質 4.5グラム ・塩 分 2.2グラム

●材料 (4人分)
 ・木綿豆腐 150g ・小松菜 200g ・人参 30g
 ・干し椎茸 2枚 ・糸こんに 50g
 ・白すりごま 大さじ1半 ・砂糖 大さじ2半
 ・しょうゆ 大さじ1 ・塩 小さじ1/3

●作り方
 豆腐はゆでザルにあげ、水気をきる。
 干し椎茸は水で戻しておく。椎茸、人参はせんぎりにしてゆでる。
 小松菜は塩ゆでし、2センチくらいに切る。
 糸こんにはカラ炒りする。
 豆腐、白すりごま、調味料を合わせてすり鉢ですり、なめらかにになったら、 を混ぜ合わせ器に盛りつける。

●出品者からのコメント
 普段よく食べている白和えですが、低カロリーでカルシウムが多く取れると思います。



一面の銀世界 2005年の幕開け



▲元旦鹿狼山登山

元旦恒例行事

元旦の恒例となった「元旦鹿狼山登山」(主催：鹿狼山元旦登山実行委員会)と「釣師の浜から初日の出を見る会」(主催：釣師の浜をきれいにする会)は、大晦日から降り出した大雪で一面銀世界での幕開けとなりましたが、関係者や地元有志らの努力により会場の準備が整い例年通り開催されました。

参加者は昨年より減りましたが、めずらしい元旦の大雪に足を運ぶ方も多く、午前9時頃にやっと顔を見せた初日に新年の誓いを立てました。



▲釣師の浜から初日の出を見る会

荒キクイさん100歳おめでとう

明治38年1月23日に現在の新地町杉目に生まれた荒キクイさん(鉄炮町) お子さんやお孫さんが駆けつけ100歳の誕生日を自宅で祝いました。

また、当日には知事賀寿贈呈式が行われ、県相双保健福祉事務所の板垣繁幸副所長より、賀寿祝状と記念の木杯、知事直筆の色紙が、加藤町長より賀寿祝状と特別敬老祝金50万円、町老人クラブの横尾富男会長から祝金と記念品が贈られました。また、ひ孫の荒麻奈美さんから花束が贈られ、次男の荒幹さんがお礼の言葉を述べました。

キクイさんの趣味は和裁で、耳が少し遠いですが、食事は3食きちっと食べます。長生きの秘訣は、前向きに一所懸命だそうです。



YAHHO! トム (和訳編)

新年明けましておめでとうございます

私は今年すごいスタートを切りました。1つ目は決して忘れられない出来事です。冬休みにタイへ行きました。12月23日に日本を出発し、タイにクリスマス・イブに着きました。バンコクで大学時代の友人に会いました。それから、夜行バスに乗りスーラータンと呼ばれる町に向かいました。皆さんも知っているように12月26日am7:30スマトラでマグニチュード9の地震が起きました。その時はバスの中にいて軽い揺れを感じました。こんなに大きい地震だなんて考えてもいなかったのです。am8:30頃、私はボートに乗りタイの東にあるコペンガンと言う小さな島に向かっていた。その時、バスに乗っていた半分の人は私達と一緒に、残りの半分はプーケットやコビピ方面に向かいました。am10:30、とても大きな津波がタイの西の沿岸を襲いました。その時私はボートに乗っていましたが、マレーシア半島の東にいたので大丈夫でした。だから私はTV以外では津波を見てないのです。実際、私が津波の被害を知ったのは友達や家族からのEメールやTVのニュースだったのです。私が被害を知ったときは、完璧と言って良いくらい穏やかでした。

津波の後、私達はスーラータンに帰っても大丈夫と分かるまでコペンガンで2日過ごしました。友達と私は大丈夫だったのでボランティアをすることにしました。初めにプーケットに近いクラビという町に行きました。その病院や公民館で2、3日過ごしました。クラビで私は被害者の家族に電話をするボランティアをしました。

クラビの後、プーケットから2時間ほど離れたカオラックのボランティアのキャンプに行きました。タイでは約8000人が亡くなりました。そして私がいたカオラックでは6000人が亡くなりました。一度私は離れ、なぜこんなにも人が亡くなったかを見に行きました。海岸から2キロ地点までのものが、全て破壊されていたのです。家、ホテル、電柱、信号、全て壊されていました。20000kgの海上保安庁のボートも沿岸から2キロ離れた地上に運ばれていました。考えてみてください、尚英中学校までボートが上がってきた様を。とても強力な津波だったのです。

カオラックでは私と友人は色々なことをしました。たくさんの方は家を無くしました、だから炊き出しのために野菜や果物を切る係りをしました。また、パスポートや車の免許、旅行かばんを集めて世界中の大使館に安否の連絡を取ったりしました。とても難しい活動でした、なぜなら悲しいお知らせも多々あったからです。そこで私は素晴らしい人々に会いました。素晴らしい出来事も見えました。あそこでの出来事は私に様々なことを教えてくれました。

もう1つの出来事をお話ししましょう。タイのキャンプ場にアルンと言う人がいました。彼はカオラックに家族と一緒に住んでいました。彼は英語を上手に話し、あの日の朝の出来事を話してくれました。彼は散歩をしに浜辺に下りていきました。潮のとても、とても低かったそうです。そう、とても潮が引いていたので人々は浜辺に降りたり、貝を拾ったり、写真を撮ったりしました。誰も津波がくるなんて知らなかったのです。しかし、津波が来る前、一人の日本人旅行者が人々に浜から上がれと叫んでいたのです。でも誰も日本語を理解できなかったのです。しかし、彼は叫び続けていました。アルンは誰も注意も払わないこの日本人は少しおかしいのかと思っていました。その日本人はアルンのシャツを掴み浜辺から逃げました。そのすぐ後に津波が押し寄せアルンは命からがら2キロ地点まで走りることができたのです。彼が浜辺から1キロ地点の実家に戻ったとき6人の家族と家はすでに亡くなっていました。彼は家と家族を一度に失いました。しかし、彼の命は救われたのです。その日本人は津波が来ることを知っていたのです。今回のこの出来事で世界中で津波の恐ろしさを改めて思い知らされました。

私はここに帰って来れたことに感謝しています。そして残りの6か月を楽しく過ごしたいと思っています。

和訳：尚英中学校 古橋秀輝先生



町の文芸

◆新地短歌会

市町村合併選択さまざまの
 協議重ねるテレビに見入る
 桜井 京子

雪残る畑の小松菜瑞々し
 摘む手悴む小寒の朝
 寺島 淑子

久々に我が家へ帰りのびのびと
 孫の支えで湯舟にひたる
 今野 好子

暖冬に早くも芽をふくチュリッ
 寒き夜には鷹をかける
 小山田つや

もぐらとて餌求めしか島の中
 もぐりもぐりと土盛り上ぐる
 大須賀しづ

孫の住む津軽につゞく青空を
 見上げて無事を祈る元旦
 八巻 春子

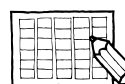
人の世の争い事も喧騒も
 凜と隔てる相善の杜
 高橋クニ子

今年かぎりかと思えば楽しゲートボール
 まだこれからと思う此の頃
 片平 トシ

山古志の仮設に住む人元旦に
 村に向ひて祈りしといふ
 菅野八重子

荒ぶ風に打ち倒されし観瀾の
 松を惜しみて村人集ひ来
 荒 洋子

友人の誘う温泉楽しみかり
 二泊三日の老人クラブ
 高崎 よし



町長日記

加藤憲郎

生涯学習フェスティバル

(発表会)

1月22、23日の両日、改善センターを会場に生涯学習発表会が催された。

入場口のガーデニングコーナーや写真展が来場者を温かく迎え、教室へ足を踏み入れると、これが素人の作品かと驚くばかり。パッチワークをはじめ、各教室の力作が展示されていた。大集会室でのオープンニングでは、特別出演の yukari (深澤ゆかり)さんと古溝徹さんの、ピアノ&サクソフーンが聴衆を楽しませ、最前列に席を取った尚英中の吹奏楽部生達もプロの演奏に感動の様子。歌に踊り、創作和太鼓、ダンス等々、一年間学んできたことを町民の前での発表会を楽しんでいるように感じました。こういう難しい時代こそ、人生を豊かに生きる時間をつくってほしいと思います。各教室をご指導くださった先生方に心から感謝します。ありがとうございました。



お正月の「どんと祭」「かせどり」



正月の松飾りやしめ縄、古神符を持ち寄って焼き、新年の幸福を祈る「どんと祭」が1月14日、町内の神社等で行われました。

焼いた際に出る煙や火は、罪、けがれを焼き尽くし、身を清めると言われており、参加者はその火にあたり、一年の無病息災、家内安全を祈りました。

また、古くから町に伝わる小正月の民俗行事「かせどり」が1月14日の夜に町内各地で行われました。かせどりは、数え年25歳、42歳、61歳の厄男、33歳の厄女などの厄を流す民俗行事で、仮装したグループがユーモラスな踊りや神楽などで厄年を迎えた家を訪れ、一家の安泰と災難の退散を祈りました。



人の動き

(住民基本台帳調べ)

1月1日現在()は前月比
●人口/8,884人(± 0人)
男/4,338人(+ 7人)
女/4,546人(- 7人)
●世帯数/2,548世帯(+3世帯)

今月の納税

●国民健康保険税 第8期分

こちら編集室

先月は、年頭ということもあり一年の抱負や誓いを立てる行事の取材が多くありました。頑張って目標を達成し、2005年をいい年にしたいと思います。成人式を取材し、新成人のみなさんの笑顔には夢や希望が満ちあふれていました。少しずつ景気回復されてるといっても、まだまだ社会は皆さんの若い力を必要としています。社会の波におぼれることなく、夢の一つ一つが現実となるよう応援しています。今月号の「YAHOO! トム」は、12月に起きたスマトラ沖地震が発生したとき、偶然にもタイにいたトム体験談を載せました。無事に帰国して何よりでした。(健)

消 息

(平成16年12月21日~平成17年1月20日届出)

お誕生おめでとう

(子供)	(親)	(地区)
優人	西谷英幸・和子	釣師
珠有	前川祐樹・順子	藤崎
明日香	原口英樹・夕子	大戸浜
颯大	岩佐友和・尚美	岡
翔太	南 孝・里美	中島
啓行	鈴木 洋・祐子	上真弓

ご冥福をお祈りします

(死亡者)	(年齢)	(地区)	(死亡者)	(年齢)	(地区)
菅野トシコ	80歳	藤崎	鈴木 安	79歳	大山田
阿部 トミ	93歳	小川	横山加代子	64歳	明地
松谷 誠	89歳	釣師	佐藤 弥生	93歳	今泉
鈴木 ヨシ	86歳	藤崎	佐藤トメノ	93歳	富倉
鈴木サタノ	95歳	沢口	菅野コハル	89歳	菅谷
鈴木 清俊	78歳	小川	八巻 正夫	67歳	菅谷
村上 正一	87歳	釣師			

この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。

